

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー : 心の発達ゼミ ILAS Seminar : Seminar on Mental Development	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, FUNABIKI YASUKO		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	10 (10)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Mon.4
<b>Classroom</b>	Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. (South Wing), Seminar Room 216			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	コミュニケーション / 発達障害 / 心の支援 / 人格形成 / 性格				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

### [Overview and purpose of the course]

人のこころの成り立ちやその働きのメカニズムは、解明の難しい、答えがどこにあるのか不明な問題のため、高校までの勉強とは異なった角度からの学問となるでしょう。その分、奥が深く、心理学、医学、社会学、生物学、さらには制度や法律、経済にも関係しうる、様々な専門分野が融合するテーマでもあります。

本授業では、多角的な専門的観点から、現時点でわかっている「こころ」について学ぶとともに、日常生活におけるこころの動きに照らし合わせながら、その働きについて洞察を深め、日々に活かせるような土台を作ることを目指します。

発達の観点からは、人のこころは、生まれながらの性格、環境、様々な要因の影響を受けながら、人格として形成され、生涯発達していくと考えられています。この過程を、乳幼児期、児童期、思春期、成人期、老年期などライフステージごとに考察し、個人の特徴も合わせて、精神面の発達過程、さらには精神的不調やその回復過程についても学びます。

### [Course objectives]

- ・人のこころの発達について、分野横断的な基本的な事項を理解する。
- ・これまでの知見や時事問題、ゼミのメンバーとの建設的な意見交換を通して、多様な背景を元にした様々な考え方やこころの状態があることを認識する。
- ・自身のストレス対処、メンタルヘルスの維持、周囲への配慮のための土台を築く。

### [Course schedule and contents]

第1回 イン트로ダクション

第2回～第14回

教員から、以下のような内容の話題を各回一つずつ提供し、グループディスカッションを行います。

1. こころの分野の多面性
2. ライフステージごとのこころの特徴
3. パーソナリティ(人格)について
4. 発達障害について
5. こころの働き(通常の認知機能とその破綻)
6. メンタルヘルスの維持方法

Continue to ILASセミナー : 心の発達ゼミ(2)

## ILASセミナー：心の発達ゼミ(2)

残りの7回は、学生から関連する内容の話題提供を募り、提案されたテーマに対して、メンバーは建設的な意見交換を行い、教員はファシリテートをしながら、関連する知識や情報の提供や紹介、また助言を行います。

特に、時事問題、報道などから積極的に取り上げ、現在起こっている未解決の事柄について、メンバーで話し合い、解決方法を探っていきます。

学生からの話題提供や時事問題の解説の際に、上記テーマの解説を盛り込むこともあります。

第15回まとめ

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

出席と参加の状況、議論への参加状況の総合評価。詳しくは授業中に説明します。

### [Textbooks]

Not used

### [References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

日頃から、時事問題に目を通しておいてください。

### [Other information (office hours, etc.)]

### [Courses delivered by instructors with practical work experience]

(1) Category

A course with practical content delivered by instructors with practical work experience

(2) Details of instructors' practical work experience related to the course

医師（精神科医・内科医）としての診療従事（特に児童精神、発達障害）、行政・地域福祉・学校現場と連携した社会的支援の実務（公認心理師取得）

(3) Details of practical classes delivered based on instructors' practical work experience

教科書やメディア情報からは得られない、精神科医としての実臨床や地域連携における実体験に基づいた解説を追加します。